

事業者向け こすもけあくらぶ放課後等デイサービス自己評価表集計結果

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○	○	○	・全員が布団に横になると狭く感じる。
	②	職員の配置数は適切であるか	○	○		・フリー職員がいると安心して応援を依頼できる。 ・基準配置だが、利用者様の状態により、少ないと思う日もある。 ・利用者の急な欠席等で、スタッフが多い時もある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○	○		・ミーティング、全体カンファレンスを通して行われている。 ・検討会に参加できないスタッフもいる。資料に目を通す努力はされていると思う。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○	○		・調査結果をスタッフで共有している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○	○	○	・ご家族様からのご意見による改善には努力していると思う。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○	○		・看護、医ケア向けの研修あり。 ・研修に積極的に参加するよう、心がけている。 ・研修時間の確保を目指している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	○	○	・多職種の職員から意見をもらい、総合的に判断し、生かしている。 ・個別懇談会を実施し、利用者様、保護者様のニーズを把握できるようにしている。
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○	○	○	・標準化されたアセスメントツールは使用していない。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	○	○	・当日のリーダーの立案での実践。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	○		・季節ごとに立案担当を変え、プログラムが工夫されている。 ・入浴があると、全員揃うこともなく、個別活動で楽しませられているか、悩む時がある。 ・自身に限って言えば、固定化している面もある。

	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○	○	○	・休日、長期休み期間は、ミーティングで支援について話す場がある。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	○	○	・個としてやるべきこと（入浴、医ケア）、他療育面で他児とのかわり等の組み合わせでの実践を工夫。 ・バランスよく組み合わせる努力をしている。 ・季節に沿った歌や創作を意識して活動している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	○	○	・放デイ開始前のミーティングを実施。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	○	○	・保護者からの連絡等は必ずその場にいる職員にま ず伝えるようにしている。 ・必要と思われることは話す。業務日誌、カルテに記 載する。適切な支援がにつながるような工夫も必要。 ・終了後、必ずとは言えない。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	○		・わかりやすく、簡潔な文章に努めている。 ・活動内容記録になりがちだが、アセスメントをし、次 回の支援につながるような点も記載が必要。 ・支援の検証や次に向けての検討がもっとできたらと 思う。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○	○		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○	○	○	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	○		・担当者ができるだけ時間調整をして参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○	○		・事前の連絡、調整、学校窓口の教諭と密に対応する ように心がけた。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○	○		
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○	○	○	・支援員はそこまでの理解はできないように思う。 ・もっと交流できたら良い。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		○	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	○	○	

保護者への説明責任等	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○	○	○	・コロナ禍にて実施困難。 ・今後は交流の機会を設けていきたい。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○	○	○	
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	○		・保護者との対話を大切にしている。 ・毎日、担当職員が変わる為、保護者とどんな会話をしたのか、共有しにくい。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○	○	○	
	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		○	・随時、行っている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	○		・早急に対応するよう、心がけている。 ・主に代表者が対応されている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	○	○	・会を開けない状況。
非常時等の対応	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に周対応しているか	○			・早急に対応し、事が大きくならないようにしている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	○		・こすもけあくらぶ放デイとしての会報発行は？ ・発信できている。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・気を付けているが、受けての方々はいかがでしょうか。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	○		・なかなかできない社会状況にて残念。 ・こすもフェスタにご招待し、丁寧に対応した。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	○		
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・本番に準じて、事前の打ち合わせをし、実施できた。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	○		・虐待防止研修会を実施した。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○	○		
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			

	④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・記録されているが、職員間での共有、周知し、次につなげることが大切。 ・ミーティングで共有している。
--	---	----------------------------	---	--	---

事業者向け

サンライズ長野川中島放課後等デイサービス自己評価表集計結果

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○	○		
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○	○		・朝のミーティング、記録、カンファレンスを通して行われている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○	○		・調査結果をスタッフで共有している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○	○		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○	○	○	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○	○		・積極的に参加するよう、心がけている。 ・zoom研修を含めた勉強会に参加した時間も勤務扱いできたら、より研修に参加する職員が増えるのではないかと。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	○		・職員間で協議し、かつ保護者との個別懇談会等を通して、アセスメントを行えている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	○	・標準化されたものは使用していない。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	○		・学期や季節ごと、活動内容を工夫している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	○		・活動の月当番を決めて、固定化しないようにしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○	○		・個別の課題に対して、きめ細やかに支援できているか…自身はきめ細やかにできていない。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○	○		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	○		・入浴があり、個別での取り組みが多い。 ・毎日の朝のミーティングで1日の流れ、担当等の確認を全体及び個々に行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返り	○	○	○	・その日の支援の振り返りや疑問点を支援終了後に

	を行い、気付いた点等を共有しているか				職員で話し合う場（時間）があれば、気付いた点の共有や他の職員の意見も聞くことができ、次の支援に生かせる。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	○		
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○	○	○	
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○	○		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	○		
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○	○		
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○	○		
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○	○	○	
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○	○		
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	○	○	
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	○	・今後は、交流を通して、人との接点をつくっていきたい。
	㉗ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○	○	○	
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○	○	○	
保護者への説明責	⑳ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	○		・随時、行っている。
	㉑ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	○		
	㉒ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士	○	○	○	

		の連携を支援しているか				
	③③	子どもや保護者からの 苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に周対応しているか	○	○		
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	○		・活動の様子を写真等を含め、発信できていると思う。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	○	○	・こすもフェスタに招待し、丁寧に対応した。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	○		
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	○		・虐待防止研修会を実施。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○	○		
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・些細なことでも職員があげてくれているので、共有できている。

事業者向け 児童発達支援自己評価表集計結果

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2 職員配置数は適切であるか	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか				※児童発達支援を実施する際は、一人ひとりに理解できるようなわかりやすい表示等を工夫していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか				※児童発達支援を実施する際は、事業所の評価、保護者等の意向等を把握していく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか				※児童発達支援を実施する際は、評価及び改善内容を会報、ホームページ等で公開していく。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか				※児童発達支援を実施する際は、アセスメントに基づいた児童発達支援計画を作成する。
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか				※児童発達支援を実施する際は、児童発達支援ガイドラインに沿って、具体的な支援内容を設定していく。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか				※児童発達支援を実施する際は、児童発達支援計画に沿った支援を行う。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか				※児童発達支援を実施する際は、個別、集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成する。

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか				※児童発達支援を実施する際は、モニタリングを実施し、計画の見直しをしていく。
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか				
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				※児童発達支援を実施する際は、各機関と情報共有していく。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	※児童発達支援を実施する際は、実施していきたい。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか			○	

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか				※児童発達支援を実施する際は、保護者同意を得ていく。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか				※保護者との情報交換の場は大切にしていきたい。
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・今後、地域住民を招待する機会を増やしていきたい。
非常時などの対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			・全体カンファで防犯マニュアルを検討、策定し、防犯訓練を実施している。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・火災、地震避難訓練は定期的に実施し、反省点を話し合い、避難訓練マニュアルを随時、改訂している。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか				※児童発達支援を実施する際は、児童発達支援計画に記載する。